

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日	
	期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部		
証券コード	8692		
単元株式数	100株		
公告方法	電子公告により行います。		
	https://www.daiko-sb.co.jp/ ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		
株主名簿管理人／ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
上記お問合せ先／ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号		
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） 受付時間 9：00～17：00（土・日・祝日、12月31日～1月3日を除く）		

〈株式に関する各種お手続き〉

- 届出住所などの変更、配当金の振込先の指定、単元未満株式の買取請求および買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にて承りますのでお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社だいこう証券ビジネス

〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目9番15号
電話 (03)5665－3040 (代表)

<https://www.daiko-sb.co.jp/>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード
入力後に表示されるアンケートサイトに
てご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 8692

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝（図書カード500円）
を進呈させていただきます

e-株主
リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL：03-5777-3900（平日 10：00～17：30）
MAIL：info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



クオリティ・ソーシング



第60期 年次報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

株式会社だいこう証券ビジネス

証券コード：8692



DSBグループの総力を発揮し、 高度な専門性を駆使した事業展開を図ります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2015年度（第60期）の事業の概況について、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

多田 暲

当社グループは2014年度（第59期）から2016年度（第61期）の3か年を対象とした中期経営計画の2年目として、引き続き諸施策を展開してまいりました。この1年間の主な取り組みといたしましては、株式会社野村総合研究所と連携し、2016年1月のマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の開始に伴い、金融機関や事業会社向けに顧客や従業員等のマイナンバーを安全かつ効率的に登録・管理・利用するソリューション（マイナンバー登録・管理・利用サービス）の提供を開始いたしました。

また、当社グループは、証券会社の設立から業務運営に至るまで、証券会社の運営を包括的に支援する「Dream-S&S」プロジェクトを推進しており、本プロジェクトにおいて、当社グループがサポートしてまいりましたごうぎん証券株式会社様（2015年10月1日開業）および、とうほう証券株式会社様（2016年4月5日開業）

が開業されました。

中期経営計画の最終年度となる2016年度（第61期）は、計画の集大成となる重要な年度になります。本年4月7日付で業務提携しました株式会社お金のデザインと共同にて、ロボアドバイザーによるETF特化型投資一任運用サービスのスキームを構築し、2016年度上期のサービス開始を目指します。また、2015年12月1日付で設立しました地域金融機関向けの人材紹介事業会社「株式会社DSBソーシング」においては、地方創生の一助となるよう、大都市圏から地方への人材の橋渡しを行うため、ITを駆使した事業展開を強化してまいります。

当社グループの総力を結集し、目標達成に向けて事業の強化を推進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

中期経営計画（2014年度～2016年度）

グループ経営ビジョン

私たちは、高度な専門性を駆使した
先見的トータルアウトソーシングサービスの提供により、
価値共創を実現する企業グループを目指します。

グループ事業ドメイン

証券業務のトータルソリューションの提供
～業界標準のプラットフォームとして、
証券業界全体の発展に貢献します～

会社運営の効率化ソリューションの提供
～会社運営のコスト削減をサポートする
ことで、企業の効率運営に貢献します～

経営
課題

- ① 高品質・高付加価値サービスの提供
- ② 価格競争力の向上（ローストオペレーション）
- ③ ソリューション型営業力の強化
- ④ グループシナジーの発揮

営業収益

営業収益は、証券バックオフィスシステムの譲渡によるITサービス事業の減収があったものの、マイナンバー登録・管理・利用サービスの提供を開始したこと等により、前年度比4.4%増の239億68百万円となりました。

営業利益

営業利益は、マイナンバー登録・管理・利用サービスに係る先行的な費用の発生や、同サービスの処理件数が想定を下回ったことによる固定費負担等の影響を受け、前年度比71.6%減の2億15百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

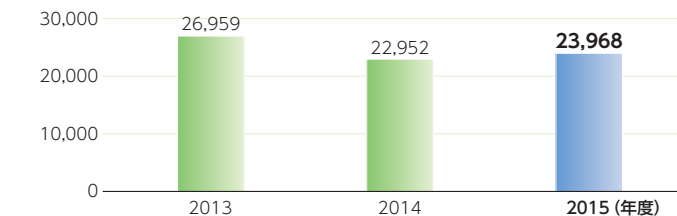
親会社株主に帰属する当期純利益は、証券バックオフィスシステムを譲渡したことにより特別利益に固定資産売却益を計上したものの、前期に行った本社移転に伴う固定資産売却益や投資有価証券売却益が減少したこと等により、前年度比98.0%減の25百万円となりました。

第61期（2016年度）の業績予想

2016年度の連結業績予想（通期）につきましては、営業収益は260億円、営業利益は7億円、経常利益は7億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億50百万円を見込んでおります。

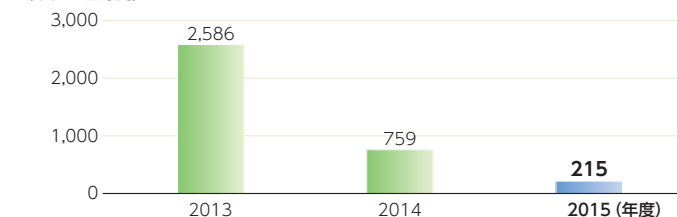
営業収益

(単位：百万円)



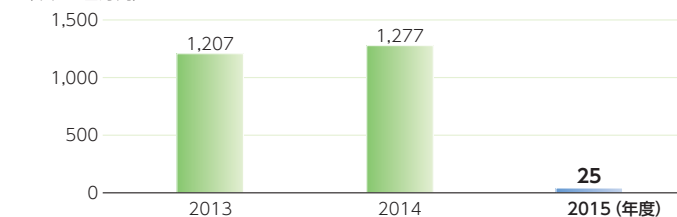
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



2016年度の通期業績予想（2016年4月1日～2017年3月31日）（単位：百万円）

	2015年度 (第60期)	2016年度 (第61期)	前年度比増減率 (%)
営業収益	23,968	26,000	8.5
営業利益	215	700	224.2
経常利益	301	750	149.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	25	550	—

TOPIC 1

「Dream-S&S」プロジェクト
とうほう証券様 開業

当社グループは、証券・金融業界のインフラストラクチャーとして、証券会社の設立から、システムサポート、法制度対応に至るまで、証券会社を包括的に支援する「Dream-S&S」プロジェクトを推進しております。このたび、本プロジェクトにより2016年4月5日付で株式会社東邦銀行様の証券子会社 とうほう証券株式会社様が開業いたしました。とうほう証券様は、東北・北海道地区で初めて地方銀行の100%出資により設立され、外貨建て債券や仕組み債、国内投資信託等、証券会社ならではの多様かつ専門性の高い金融商品やサービスをワンストップで提供します。DSBグループは、今後もうとうほう証券様をフルサポートして業容拡大に寄与できるよう強力にバックアップし、ひいては地域のお客様にご満足いただける高品質なサービスの提供に努めてまいります。

TOPIC 2

株式会社お金のデザインと業務提携

ロボアドバイザーによるETF特化型投資一任運用サービスを提供

当社は、独自のロボアドバイザー機能を有する株式会社お金のデザインと業務提携し、世界のETF（上場投資信託）を対象とした投資一任運用サービスを証券会社等に提供します。

一般的に、公募投資信託を運用対象として金融機関に運用を一任するファンドラップ口座では、運用報酬、口座管理料のほか、各ファンドの信託報酬を含めると投資家は2～3パーセントの手数料を支払っているケースも少なくありません。フィンテック企業であるお金のデザイン社は、金融工学とテクノロジーを駆使し、独自開発のアルゴリズムによるロ

■とうほう証券様「Dream-S&S」プロジェクト

〈開業までの準備〉

ヒアリング・設立プランのご提案

証券会社設立支援コンサルティング

- 事業計画書の策定
- 証券経験者等の人材確保
- 監督当局・関係機関の制度手続き
- 証券会社業務フローの説明とバックオフィス業務の構築
- 証券システムの導入とシステム研修
- 社内規程の策定
- 法令・通達に基づいた帳票設計
- 内部管理体制の構築
- 人材育成のための研修

〈開業後〉

証券バックオフィス業務の提供
証券システムの提供

ボアドバイザーを活用した資産運用サービスを自社ホームページにより展開しています。全国260以上の金融機関と取引のある当社はお金のデザイン社と共同で、両社それぞれの強みを生かした、これまでにないスキームを構築します。

当スキームでは、投資家一人ひとりのリスク許容度に合わせたポートフォリオの作成プロセスにおいて、ロボアドバイザーの活用によりコストを低減できるため、証券会社等は投資家の支払う手数料を抑えたサービス提供が可能となります。当社は主に対面でサービスを行う証券会社等に対して、ETF特化型投資一任運用サービスの提供を目指します。

TOPIC 3

株式会社DSBソーシング 設立

地域金融機関向け人材紹介サービス事業を開始

当社は、2015年12月1日付で、地域金融機関向けの人材紹介事業会社「株式会社DSBソーシング」を設立しました。地方では首都圏への人口流出にともなう地域衰退が懸念されており、地方創生に向けた様々な取り組みが行われています。DSBソーシングは、地域経済の活性化において重要な役割を担う地域金融機関の一助となるよう、コンテンツマーケティングの手法を駆使し、大都市圏から地方への有能な人材の橋渡しを行う人材紹介サービスを展開してまいります。

■DSBソーシング コーポレートサイト



(<https://www.dsb-s.co.jp/>)

【会社概要】

商 号 株式会社DSBソーシング
本 社 所 在 地 〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目9番15号 DSBグループ潮見ビル
代 表 者 代表取締役社長 駒林 素行
資 本 金 1億円 (株式会社だいこう証券ビジネス100%)
主 な 事 業 内 容 人材紹介業 (厚生労働大臣許可番号 13-ユ-307626)

DSBソーシングが運営するウェブサイト

●地方の魅力ある情報を配信するメディア

nezasネガス

金融分野の情報ポータルサイト運営で実績のある株式会社ZUUと提携し、地方の未来と地域に根ざす人材を応援するウェブサイト「nezasネガス」を開設しました。各地域の経済を支えている金融機関や地元企業、自治体等の取り組みを発信していきます。また、各地域の仕事や衣食住に関する情報等も掲載し、UターンやIターンに興味をもつビジネスパーソンの潜在的な転職ニーズの掘り起こしを図ります。



(<https://nezas.net/>)

●地域金融機関求人ポータルサイト

nezasスカウト

人材採用の分野で強みをもつHRソリューションズ株式会社と提携し、地域金融機関に特化した求人ポータルサイト「nezasスカウト」を開設しました。DSBグループの地域金融機関とのネットワークを生かし、既存の転職サイトにはなかなか出てこない、地方銀行・地銀系証券会社や地場証券等の中途採用情報を広く掲載します。今後、地域金融機関が求職者へ直接アクセスできるスカウト機能の追加等、機能拡充を進めてまいります。



(<https://nezas-scout.net/>)



バックオフィス事業

証券会社設立支援コンサルティング

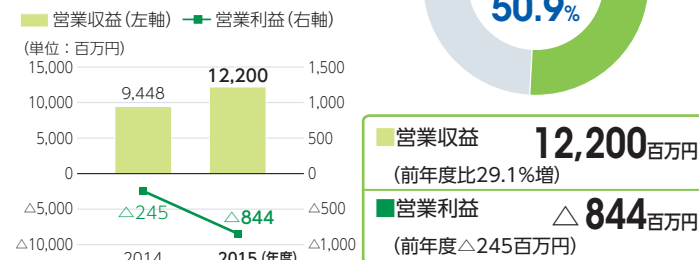
- 証券会社設立に伴う登録申請などの当局対応
- 業務運営に係るスキーム構築など

証券事務

- 口座開設、証券決済
- 相続手続き事務代行サービス

保管／メーリング／配送

- 電子文書管理サービス(D-FINDS)など
- 有価証券、重要書類などの現物保管・配送
- 重要書類の印刷・封入・封緘・圧着処理など



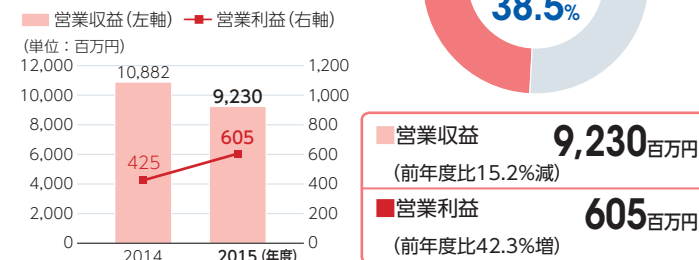
全体的に受託業務量が増加したことにより営業収益は前年度比29.1%増の122億円となったものの、マイナンバー登録・管理・利用サービスに係る先行的な費用の発生や、同サービスの処理件数が想定を下回ったことによる固定費負担等の影響を受け、セグメント損失(営業損失)は8億44百万円(前年度はセグメント損失(営業損失)2億45百万円)となりました。



ITサービス事業

証券関連システムの開発、提供、運用、保守

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社に提供していた証券バックオフィスシステム(基幹系システム)を2015年7月22日付で同社に譲渡したことによる減収があったものの、新規開発案件の増加等もあり、営業収益は前年度比15.2%減の92億30百万円、セグメント利益(営業利益)は前年度比42.3%増の6億5百万円となりました。



証券事業

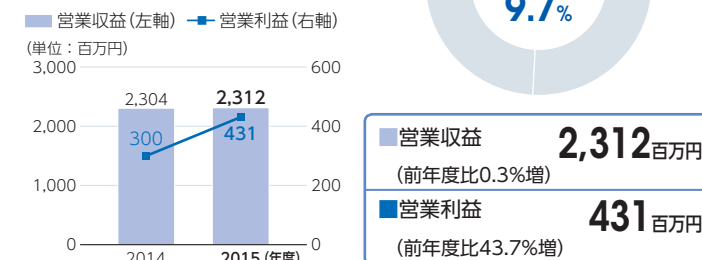
市場執行

清算取次

口座管理機関サービス

- 株式等間接口座管理サービス(CLS)
- 投信・一般債・国債間接口座管理サービス
- 担保有価証券管理サービス
- 商品先物充用有価証券管理サービス

金融商品供給サービス



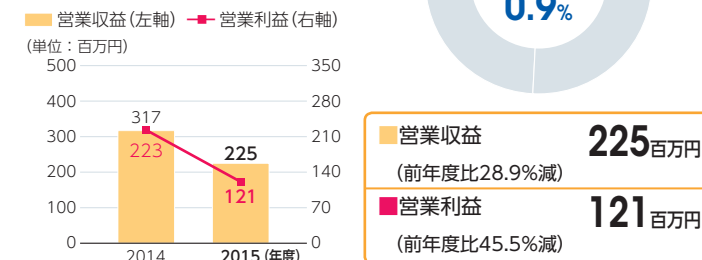
営業収益は前期並みの23億12百万円(前年度比0.3%増)となりましたが、費用の減少により、セグメント利益(営業利益)は前年度比43.7%増の4億31百万円となりました。



金融事業

証券担保ローン

証券担保ローンの融資残高が減少したこと等により、営業収益は前年度比28.9%減の2億25百万円、セグメント利益(営業利益)は前年度比45.5%減の1億21百万円となりました。



※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

<p>① 資産合計</p> <p>主に営業貸付金、信用取引資産、ソフトウェアが減少したことにより、前年度末に比べ153億13百万円減少しております。</p>	<p>② 負債合計</p> <p>主に短期借入金、信用取引負債が減少したことにより、前年度末に比べ145億26百万円減少しております。</p>	<p>③ 純資産合計</p> <p>剰余金の配当、その他有価証券評価差額金の減少等により、前年度末に比べ7億87百万円減少しております。</p>
---	--	---

科 目	前年度 (2015年3月31日)	当年度 (2016年3月31日)
(負 債 の 部)		
流動負債	35,615	21,059
短期借入金	10,645	2,270
1年内返済予定の長期借入金	333	－
信用取引負債	12,314	6,344
短期受入保証金	8,676	8,708
その他	3,646	3,736
固定負債	2,752	2,675
長期借入金	1,333	1,000
退職給付に係る負債	1,233	1,574
その他	185	100
特別法上の準備金	547	654
金融商品取引責任準備金	547	654
2 ▶ 負債合計	38,915	24,389
(純 資 産 の 部)		
株主資本	25,083	24,757
資本金	8,906	8,921
資本剰余金	11,367	11,383
利益剰余金	4,863	4,506
自己株式	△ 54	△ 54
その他の包括利益累計額	452	0
その他有価証券評価差額金	468	239
土地再評価差額金	△ 0	△ 0
退職給付に係る調整累計額	△ 15	△ 238
新株予約権	54	45
3 ▶ 純資産合計	25,590	24,803
負債純資産合計	64,506	49,193

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

4 営業収益

証券バックオフィスシステムの譲渡によるITサービス事業の減収があったものの、マイナンバー登録・管理・利用サービスの提供を開始したこと等により、営業収益は、前年度に比べ4.4%増の239億68百万円となりました。

5 営業利益

マイナンバー登録・管理・利用サービスに係る先行的な費用の発生や、同サービスの処理件数が想定を下回ったことによる固定費負担等の影響を受け、営業利益は、前年度に比べ71.6%減の2億15百万円となりました。

6 特別利益

主に証券バックオフィスシステムの譲渡による固定資産売却益1億57百万円であります。

7 特別損失

主に金融商品取引責任準備金繰入れ1億7百万円であります。

8 営業活動によるキャッシュ・フロー
主に営業貸付金の減少額40億10百万円、信用取引資産の減少額64億25百万円、信用取引負債の減少額59億70百万円によるものであります。

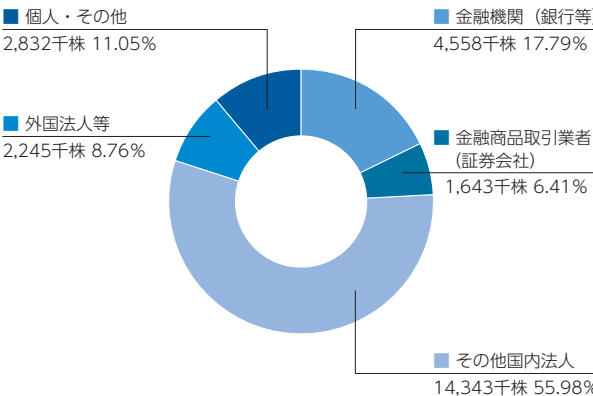
9 投資活動によるキャッシュ・フロー
主に無形固定資産の取得による支出48億69百万円、無形固定資産の売却による収入69億52百万円によるものであります。

10 財務活動によるキャッシュ・フロー
主に短期借入金金の減少額83億75百万円、長期借入金金の返済による支出6億66百万円によるものであります。

株式の状況

発行可能株式総数	66,240,000株
発行済株式総数	25,623,700株
株主数	3,291名

所有者別分布状況



大株主の状況

会社名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社野村総合研究所	13,013	50.78
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,204	4.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,127	4.40
野村ホールディングス株式会社	1,070	4.17
株式会社りそな銀行	699	2.72
株式会社三井住友銀行	699	2.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	690	2.69
株式会社みずほ銀行	565	2.20
藍澤證券株式会社	489	1.91
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	427	1.66

会社概要

社名	株式会社だいこう証券ビジネス
英文社名	DSB Co., Ltd.
設立	1957年5月
資本金	89億21百万円
本社所在地	〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目9番15号 電話 (03) 5665-3040 (代表)
事業所	本社 大阪本部
子会社	株式会社ジャパン・ビジネス・サービス 株式会社DSB情報システム 株式会社DSBソーシング 東京自動車管理株式会社

役員 (2016年6月20日現在)

取締役会長	末永 守
代表取締役社長	多田 斎
代表取締役専務	御園生 悦夫
常務取締役	佐藤 公治
取締役執行役員	渋谷 伸
取締役（社外）	秦 喜秋
取締役（社外）	有吉 章
監査役（常勤）	岩崎 均
監査役（社外）	田口 和夫
監査役（社外）	西村 善嗣
監査役（社外）	布施 麻記子

ホームページのご案内

<https://www.daiko-sb.co.jp/>

当社ホームページでは、サービス案内をはじめ最新の企業情報等を提供しております。ぜひご利用ください。

(トップページ)



(企業情報)



配当について

- 2015年度の期末配当
 - 普通株式 1 株につき 7円50銭
 - 配当金総額 191百万円
 - 配当効力発生日 2016年6月21日
- なお、中間配当金7円50銭を合わせた年間配当金は、1株当たり15円となりました。

●1株当たり配当金推移

	年間配当金	配当性向
2014年度	15円	29.9%
2015年度	15円	1,500.0%
2016年度(予)	15円	69.6%

株主優待のご紹介

毎年3月31日現在の株主様に対し、以下のご所有株式数に応じてカタログギフトを贈呈いたします。



●贈呈基準

所有株式数	カタログギフト
500～1,000株未満	2,000円相当
1,000～10,000株未満	3,000円相当
10,000株以上	5,000円相当



(掲載商品の一例)